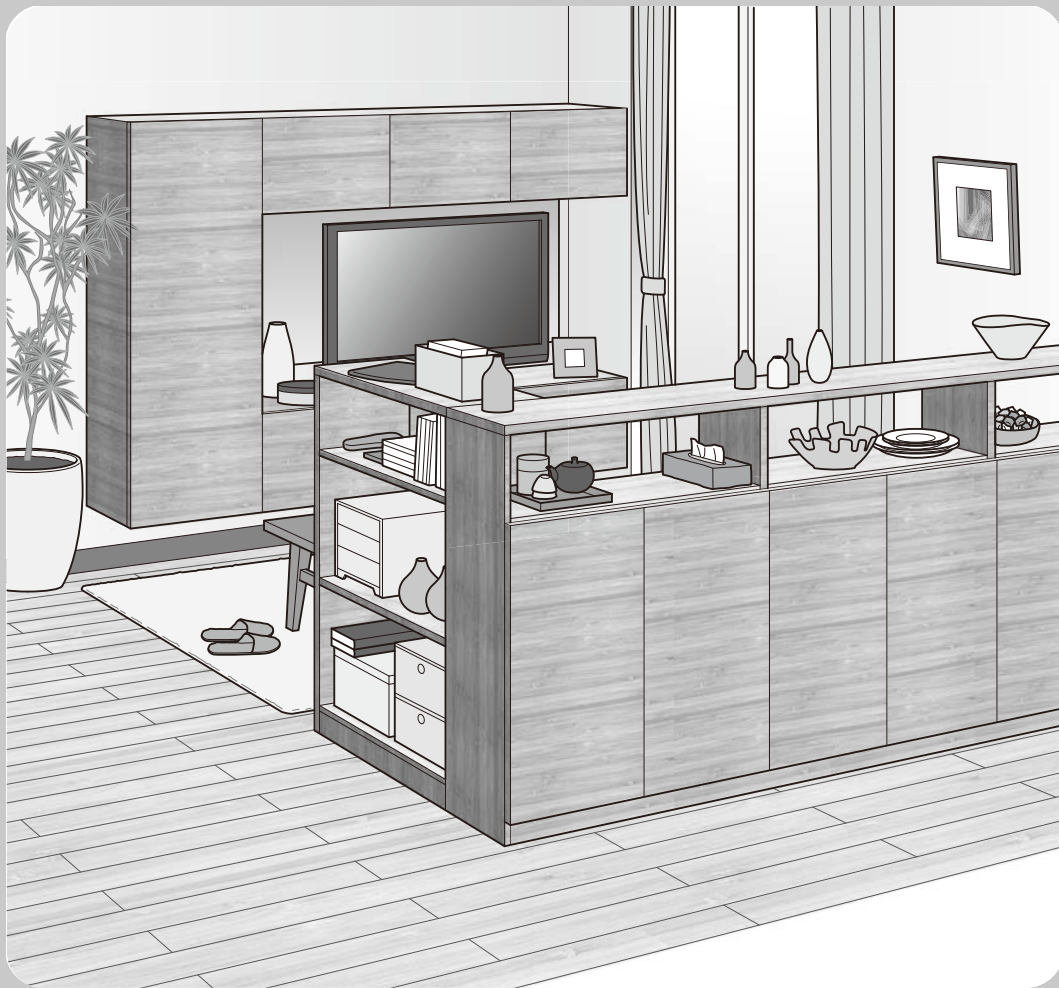


インテリア建材 **ヴィータス**

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

■重要なお知らせ	2
■警告用語の種類と意味	3
■特に注意していただきたいこと	3~7
■お手入れ方法	8
■調整方法について	9~12
■アフターメンテナンスについて	13
■商品保証について	14

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。
従って、「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。



お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとするとう扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店又は、当社お客様相談センターまでご相談ください。
- ご使用前に点検して異常がある場合は使用せず、工務店様・販売店様または当社お客様相談センターにお問い合わせください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

●この「取扱い説明書」では、危険度(または事故の大きさ)によって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

プッシュオープン扉(マグネットラッチ)

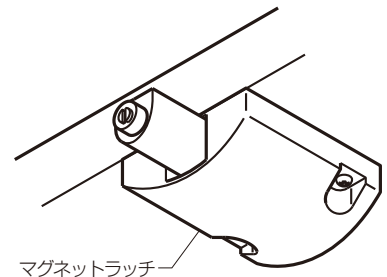
警告



●下記機器をお使いの方は各機器メーカーに磁石の影響をご確認ください。

医療機器誤作動のおそれがあります。

- (1) 体内埋込型機器
- (2) 生命維持用機器
- (3) 装着型心電計等



家電専用キャビネット・コンセント

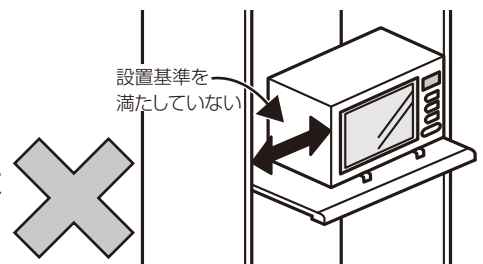
警告



●下記事項をお守りください。ショート・漏電・感電、更に火災のおそれがあります。



- ・収納する家電製品の設置基準(必要設置寸法)を満たしてください。
- ・電源コンセントの表示容量(ワット)を超えないでください。
- ・コンセントは定期的に掃除をしてください。



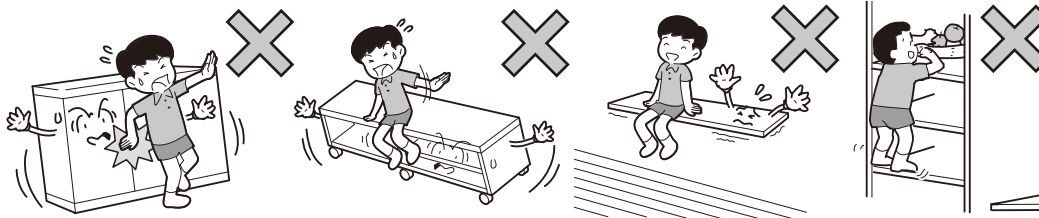
特に注意していただきたいこと

共通

注意



●製品にぶら下がったり、もたれかかったり腰かけたりよじのぼったりしないでください。製品が倒れケガをするおそれがあります。



●各製品の耐荷重をこえる収納物をのせないでください。製品が破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。



耐荷重

●耐荷重は棚板がたわまない基準ではなく、安全にお使いいただくための荷重です。
(荷重：均等に物を置いた想定)

各部材耐荷重	
固定棚板※	20kg【30kg】(5kg) / 枚
可動棚板・配線棚板※	10kg【20kg】(5kg) / 枚
地板※	20kg (5kg) / 枚
ベースキャビネット天板	下表①
カウンター収納天板	50kg/枚
デスク用カウンター	50kg/枚
カウンター	下表②
レンジ用棚板	30kg/枚
スライド棚板	15kg/枚
引出し	10kg/set
ハンガーバー	10kg/本
スライドパイプ	5kg/本
一枚棚	8kg/m

※棚板・地板の耐荷重はD300/430を示します。
【】内は棚板補強金具を付けたとき、()内はD130を示します。
棚板補強金具はD130およびフロート納まりには使用できません。

棚板取付け可能段数

製品種類	製品高さ	棚板取付け段数
ウォールキャビネット	932mm 以下	3 段まで
ベースキャビネット	964[1028]mm 以下	
カウンター収納	836mm	4 段まで
キャビネット	1078mm	
ツールキャビネット	① 1540[1604]mm 以下	5 段まで
	② 1572[1636] ~ 2308[2372] mm	8 段まで

※【】内は地板なしキャビネットの場合を示します。

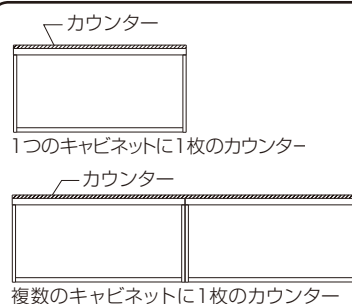
①ベースキャビネット天板耐荷重 / 枚

キャビネットW	W04	W055	W08	W11	W12	W135	W16	W165	W20	W22	W24
床置き	50kg				90kg						
フロート	50kg				フロート対応不可						
キャスター付	キャスター対応不可				90kg						

②カウンター耐荷重 / 枚

※1つのキャビネットに1枚のカウンターの時も、複数キャビネットに1枚のカウンターの時も耐荷重は同じです。

カウンター-W	W04	W055	W08	W11	W12	W135	W16	W165	W20	W22	W24
床置き	50kg				90kg						
フロート	50kg				フロート対応不可						
キャスター付	キャスター対応不可				90kg						



ウォール・ツール・ベースキャビネット

天板 (ベースキャビネット以外)
20kg (5kg)

棚板
可動棚板 / 配線棚板
: 10kg (5kg)
固定棚板: 20kg (5kg)

天板 (ベースキャビネット)
※①参照

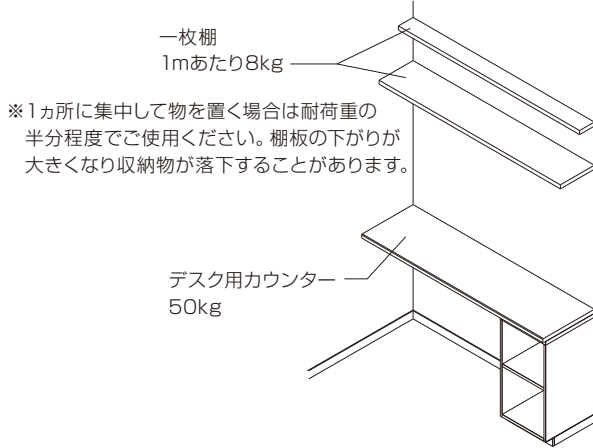
棚板補強金具

地板
20kg (5kg)

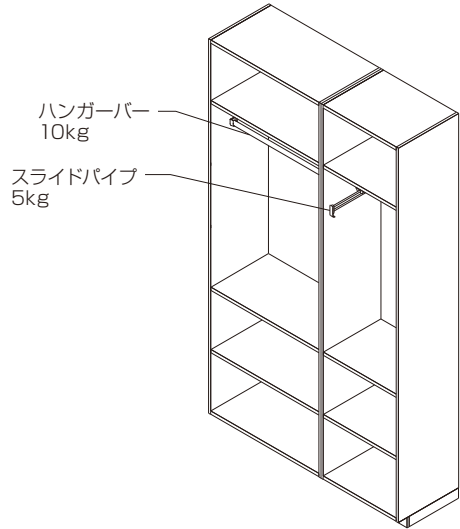
※上記はD300/430の耐荷重を示し、
()内はD130の場合の耐荷重を示します。

⚠ 注意

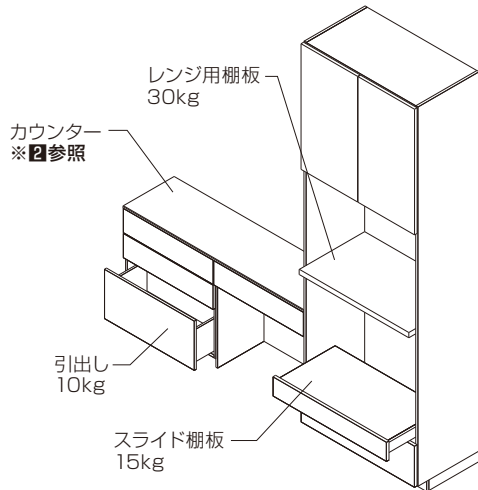
一枚棚 / デスク用カウンター



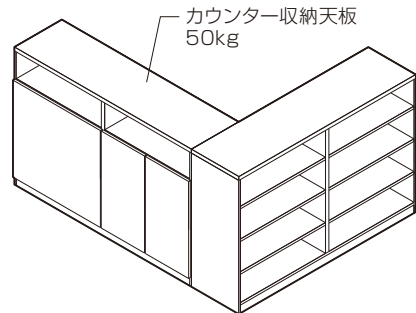
ハンガーバー / スライドパイプ



レンジ用棚板 / スライド棚板 / カウンター / 引出し



カウンター収納



開き扉・引出し・フラップ扉

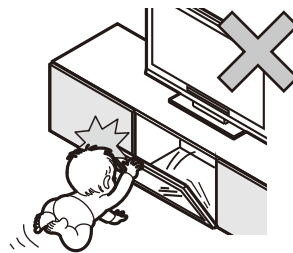
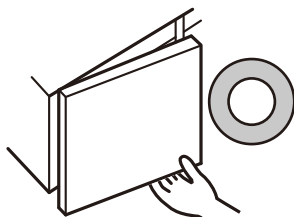
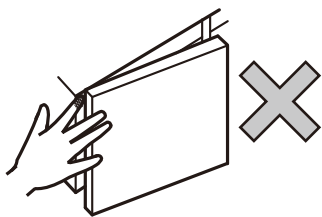
⚠ 注意



●扉の開閉時は下記事項をお守りください。急に扉が開閉したり、すき間に指が挟まれてケガをするおそれがあります。

- ・丁番側のすき間に指を挟まないでください。
- ・把手または戸先に手を添えて操作してください。

※特にお子さまにはご注意ください

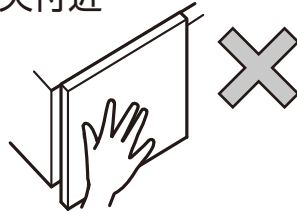


特に注意していただきたいこと

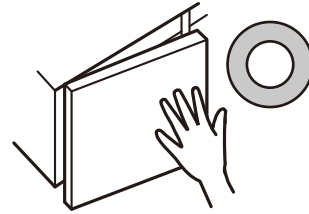
開き扉・引出し・フラップ扉

お願い

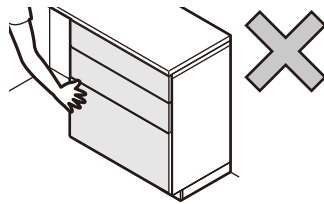
- プッシュオープン扉は以下の位置で操作してください。開閉できなくなることがあります。
 - ・ 開き扉: 戸先側
 - ・ 引出し: 扉中央付近
 - ・ フラップ扉: 戸先側中央付近



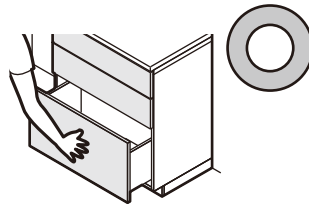
扉吊元側を押す = 開かない



扉戸先側を押す = 開く



引出し端部を押す = 開かない



引出し中央部を押す = 開く

※中央（開き扉は戸先）を押しても扉が開かない場合は、下記の調整を行ってください。

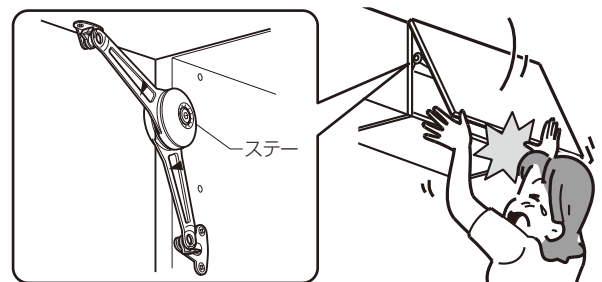
- ・ 開き扉／フラップ扉の場合・・・【P.10】“マグネットラッチの調整”
- ・ 引出しの場合・・・【P.11】“引出し前板高さ・傾き調整”“扉とキャビネットのチリ調整”

フラップ扉 (H04)

お願い

- H04 ステーは定期的に調整してください。経年使用でブレーキが弱くなる場合があります。

※必ずすべてのステーを調整してください。音なりや作動不良の原因になります。



キャスター付キャビネット

お願い

- キャビネットの移動はキャスターのロックを外してから行ってください。床にキズが付くことがあります。
- キャスター付キャビネットは床表面にへこみやキズやはがれなどが生じることがあります。気になる場合は市販の硬い緩衝材を敷いてご使用ください。ただし、ゴム等の素材によっては、床面に跡が付いたり、変色等を起こすものがありますのでご注意ください。

■キャスターのロック解除方法

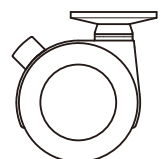
- 矢印のようにツマミを押すことにより、ロックの施解錠ができます。

押します

ツマミ

←キャスター(ロック付き)

【ロック状態】



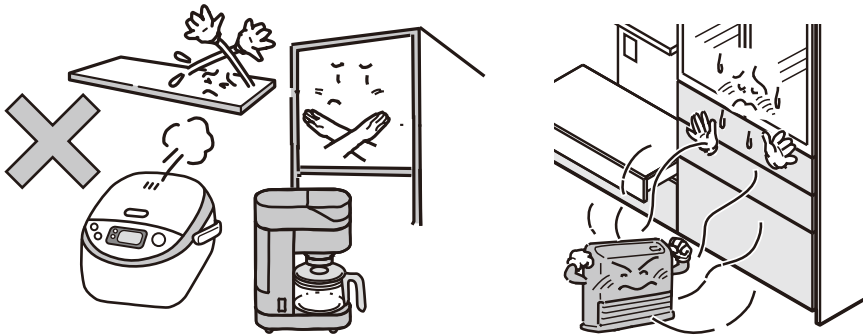
【ロック解除】

共通

お願い

- 周辺機器からの熱・蒸気が当たらないようにしてください。変色したり反ることがあります。

※家電専用キャビネットはスライド棚板を引き出して家電製品をご使用ください。

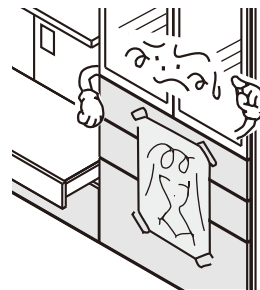


- 下記の液体はすぐに除去してください。ソリやふくれ、変色が起きたり、破損することがあります。

※水・油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・芳香剤・除湿剤・アロマオイル・洗剤・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶、その他の液体



- 粘着テープなどを貼らないでください。表面が傷むことがあります。



- 先のとがったものや硬いものでひっかかないでください。キズが付くことがあります。

- 強酸、強アルカリ、有機溶剤を収納しないでください。金属部品が腐食することがあります。

- 収納棚を汚れたままにしないでください。腐食やカビの原因になることがあります。

お手入れ方法

製品の表面・把手など

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れが付着している場合、きれいな乾いた柔らかい布でから拭きしてください。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めて硬く絞ったぞうきんで清掃し、洗剤はきれいに拭き取ってください。

絶対に使用しないでください
(表面の塗装などが落ちることがあります)

酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)など

- 使用上に異常・不具合が生じたときは、状況を確認してください。
ご自身で対処できない場合は、施工業者さまにご連絡ください。

アルミ扉

表面にキズが付くため、お手入れは以下の手順で行ってください。

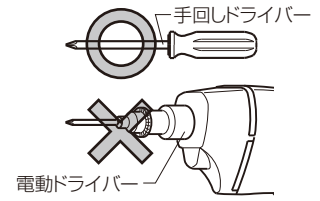
- ① 水を十分に含んだ柔らかい布で表面のゴミを優しく落としてください。
- ② 柔らかい布またはスポンジを用いて、ぬるま湯で薄めた中性洗剤で洗浄してください。
- ③ 中性洗剤は水を十分に含んだ柔らかい布で軽く、拭き取ってください。
- ④ 最後に柔らかい布で完全に水を拭き取ってください。



調整方法について

お願い

- 掲載されていない調整は無理に行わないでください。製品が破損することがあります。ご不明な点は、お取扱いの施工店または当社お客さま相談センターにお問合わせください。
- 建付け調整は手回しドライバーで行ってください。部品が破損することがあります。



■調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

開き扉／フラップ扉（スライド丁番による建付け調整）

■上下調整

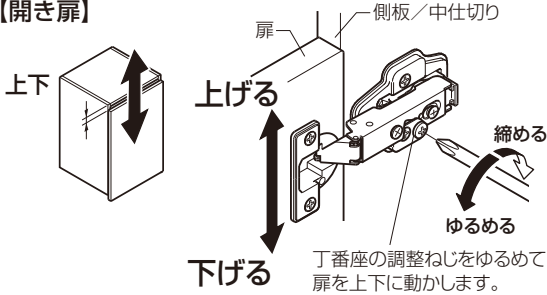
【調整範囲】

	開き扉	フラップ扉
上方向	1.5mm	右回し：3mm
下方向	1.5mm	左回し：1mm



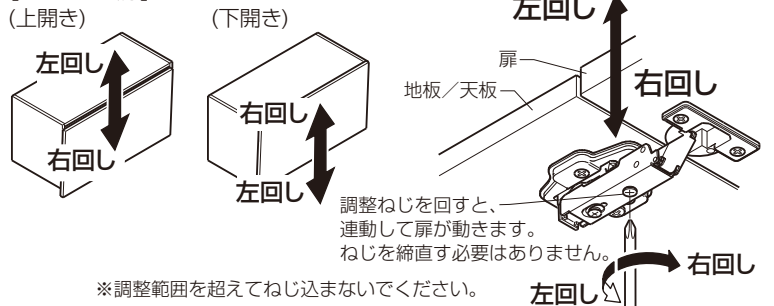
扉調整方法

【開き扉】



※調整後、調整ねじを必ず締直してください。

【フラップ扉】



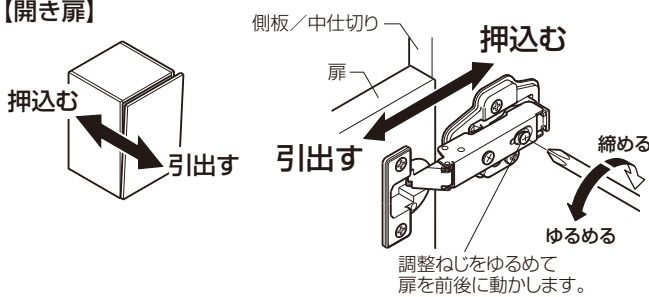
※調整範囲を超えてねじ込まないでください。

■前後調整

【調整範囲】

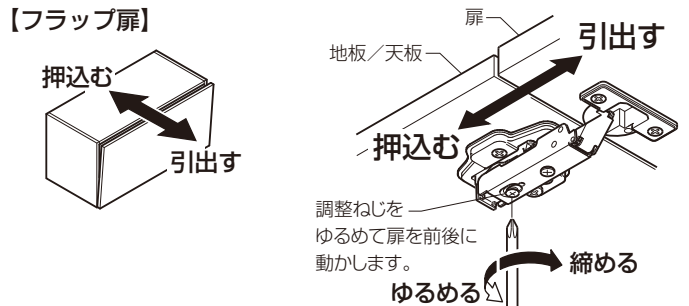
	開き扉	フラップ扉
前方向	2mm	2mm
後方向	2mm	2mm

【開き扉】



※調整後、調整ねじを必ず締直してください。

【フラップ扉】



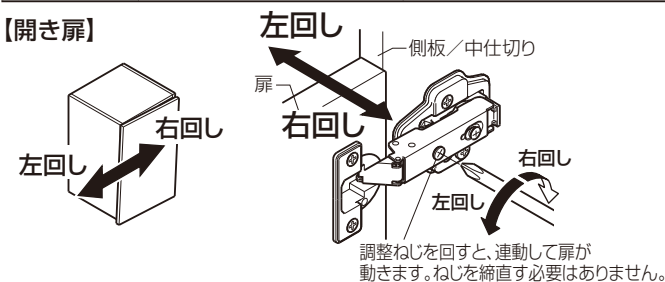
※調整後、調整ねじを必ず締直してください。

■左右調整

【調整範囲】

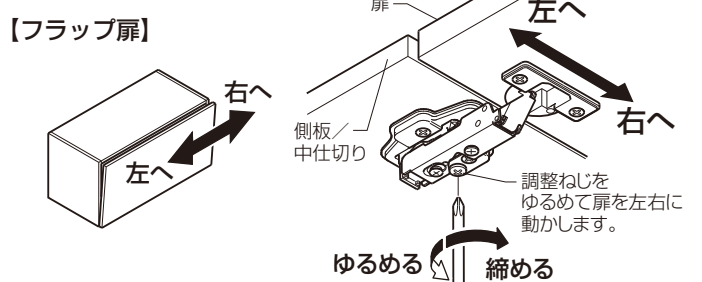
	開き扉	フラップ扉
扉内方向	右回し：3mm	1.5mm
扉外方向	左回し：1mm	1.5mm

【開き扉】



※調整範囲を超えてねじ込まないでください。

【フラップ扉】



※調整後、調整ねじを必ず締直してください。

調整方法について

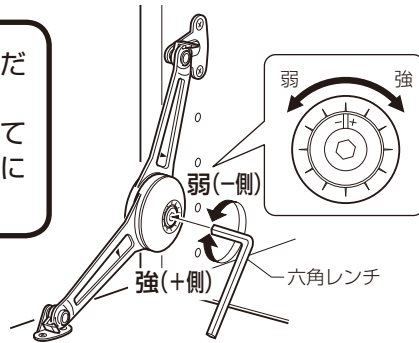
フラップ扉のフラップステー調整

■ブレーキの強さ調整 (H04)

ブレーキ調整がゆるんでくる場合があります。定期的に調整してください。

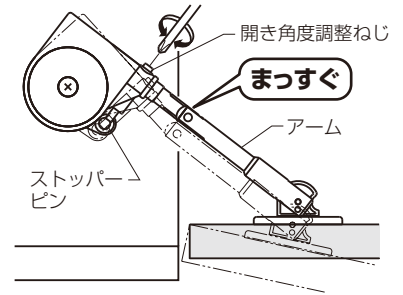
お願い

- 必要以上にゆるめないでください。部品が破損します。
- 必ずすべてのステーを調整してください。音なりや作動不良になることがあります。



※扉がスムーズに開閉するように、六角レンチ (4mm) を使用して調整してください。

■開き角度調整 (H02)



※扉を最大に開き、フラップステーのアームが曲がっていないか確認してください。曲がっている場合は、開き角度調整ねじがストッパーピンに当たるよう締め込み、アームがまっすぐになるよう調整してください。

フラップ扉
ステー調整



開き扉のソフトモーション調整

■閉まりきらない場合 (ソフトモーション付)

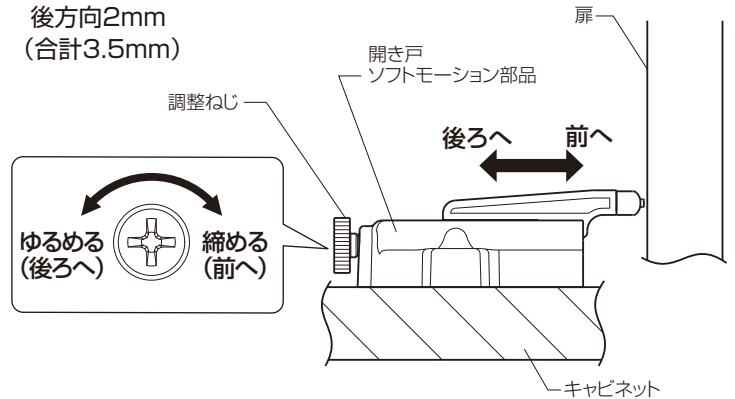
閉まりきらない場合、ソフトモーションを後ろへ調整します。ソフトモーション後部の調整ねじを手でまわし、調整してください。

※調整ねじを締めると前へ、ゆるめると後へ動きます。

お願い

- 前方向に調整しすぎないでください。扉が閉まりきらなくなることがあります。
- 下記事項をお守りください。部品が破損することがあります。
- ・調整ねじは手で回して調整してください。
- ・調整範囲を超えた調整をしないでください。

- 調整範囲
前方向1.5mm
後方向2mm
(合計3.5mm)

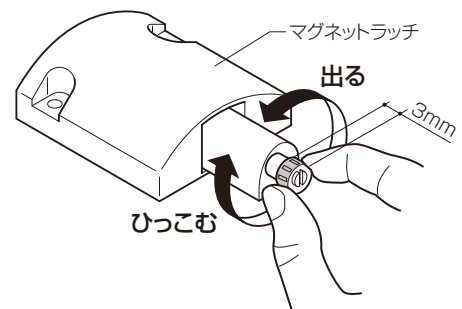


開き扉・フラップ扉のマグネットラッチ調整

■プッシュオープンが作動しない場合

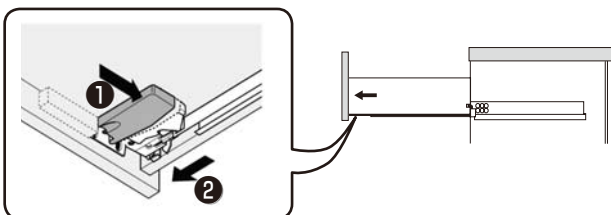
マグネットラッチが作動しなかったり、キャビネットとのすき間が大きい場合は、先端を手で回し、前後の調整を行ってください。

※必ず丁番の建付け調整後に行ってください。



引出しの外し方、入れ方 (ソフトモーション・プッシュオープン)

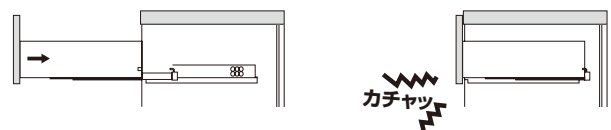
■引出しの外し方



引出し本体の取外し

- ①左右両側のレール着脱部品のレバーを押しながら
- ②引出しを外す。

■引出しの入れ方



引出し本体をレールにすべり込ませて取付けます。

カチャッという音を確認してください。

※引出し吊込み後、3回ほど開閉を行ない、レールから外れずガタツキなく取付いていることを確認してください。

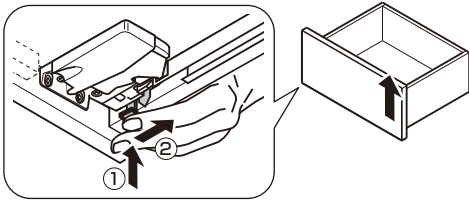
■プッシュオープン引出しを押しても開かない場合

- 操作方法が正しいか確認してください (P.6)
- 操作方法に誤りがない場合は引出しの調整を行なってください。
引出し前板の高さ・傾き調整
扉とキャビネットのチリ調整

引出し前板高さ・傾き調整 (ソフトモーション・プッシュオープン)

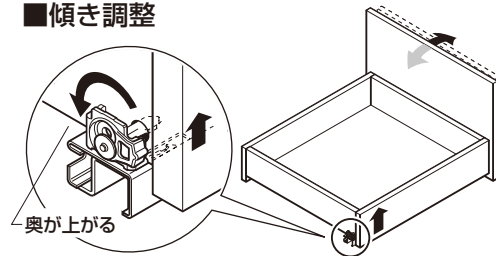
高さ・傾き調整で、引出し前板を垂直にし、高さを調整します。

■高さ調整



- ① 引出しを軽く持ち上げ
- ② グレーの樹脂部を前後に動かすことで高さ調整ができます。

■傾き調整



引出しレール後ろの部品を回転させることで前板の傾き調整ができます。

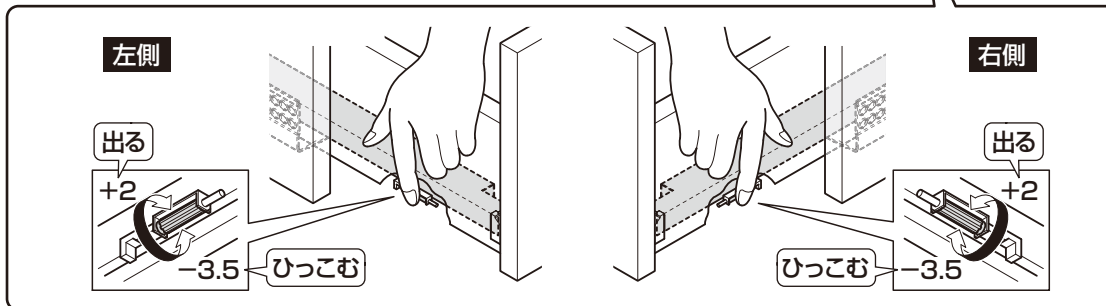
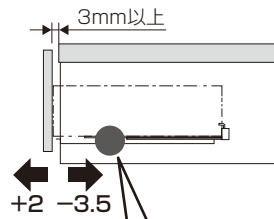


扉とキャビネットのチリ調整 (プッシュオープン)

チリ調整で“+”方向に調整し、扉とキャビネットのチリ寸法を少し大きくします。

調整範囲/標準3mm
(前方向:+2mm)(後方向:-3.5mm)

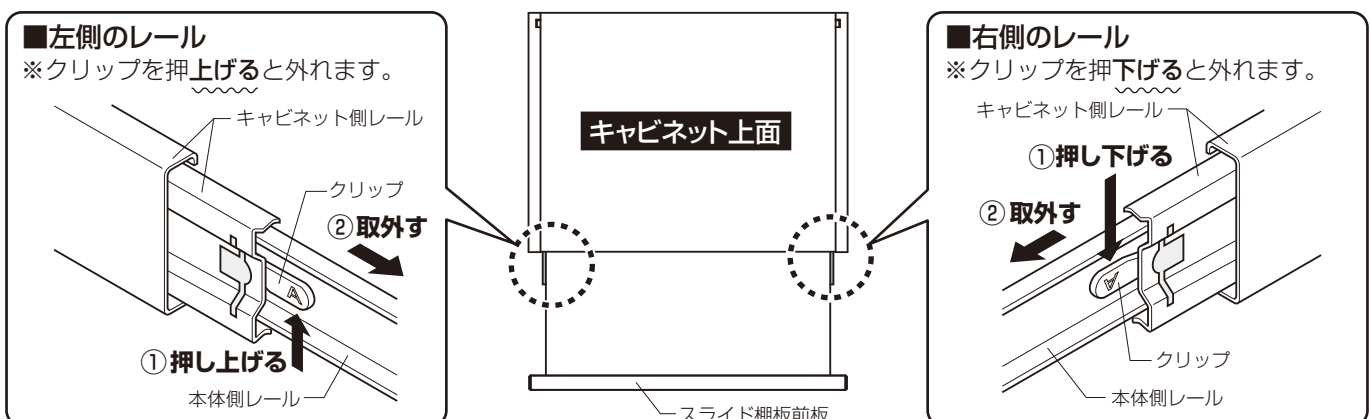
- ※引出しを開きオレンジの部品を指で回して調整します。
- ※調整しづらい場合は引出し本体を外してください。
- ※調整範囲を超えて回し込むとプッシュオープンが働かなくなります。



※調整しすぎて他の扉と面が揃わなくなった場合は、他の扉を調整するか引出しの調整を“-”方向に少し戻してください。

スライド棚板の取外し方法

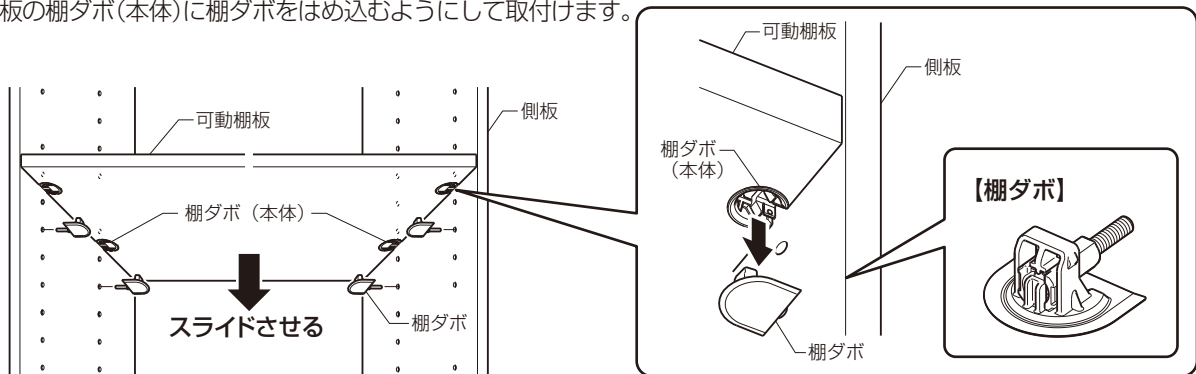
製品の本体側レールのクリップを操作し、取外します。(クリップは、左右同時に操作してください。)



調整方法について

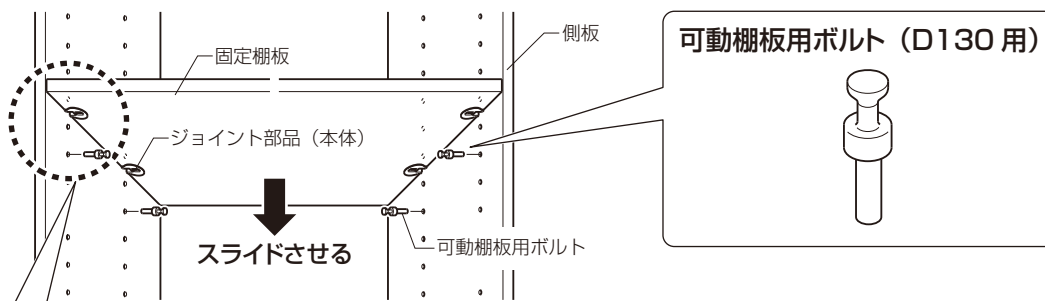
可動棚板の位置変更方法 (D130 を除く)

- ①可動棚板を垂直に持ち上げ、取外します。
- ②棚ダボを取外し、お好みの位置に差込んでください。
- ③可動棚板の棚ダボ(本体)に棚ダボをはめ込むようにして取付けます。

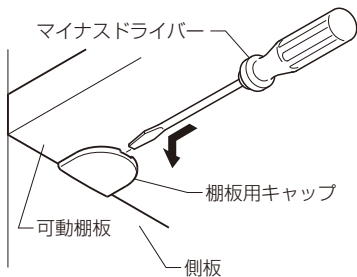


D130 可動棚板の位置変更方法

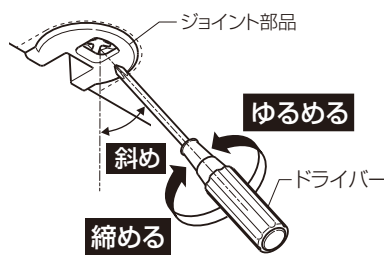
- ①～③の手順で可動棚板を取外し、可動棚板用ボルトをお好みの位置に取付けし直します。
- ①～③の逆の手順で、可動棚板、棚板用キャップを取付けます。



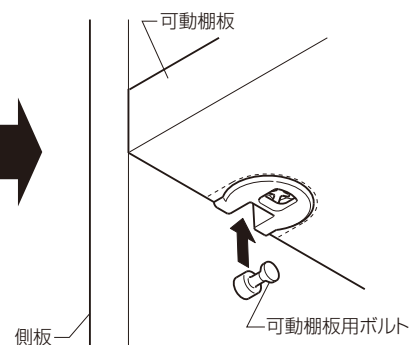
- ①棚板用キャップの中央切欠きにマイナスドライバーを差込み、キャビネットを傷つけないよう取外します。



- ②手回しドライバーを斜めに差込み、ジョイント部品のねじをゆるめます。
※斜めにドライバーを差込んでください。ジョイント部品が破損します。



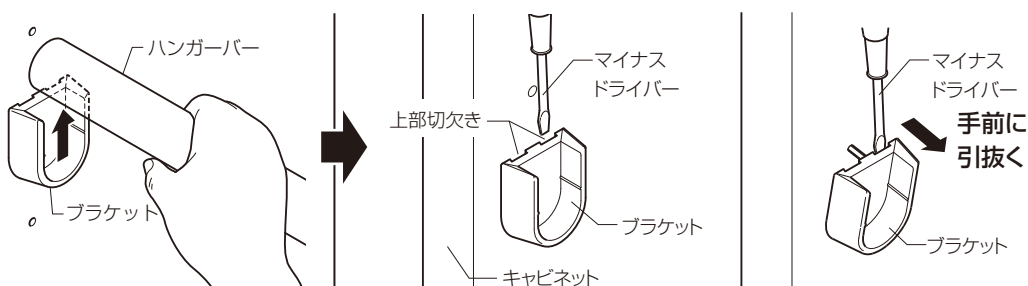
- ③可動棚板を垂直に持ち上げ、取外します。



ハンガーバーブラケットの位置変更方法

■ハンガーバー位置変更

- ①ハンガーバーを上を持ち上げ、ブラケットから抜きます。
- ②ブラケット上部切欠きにキャビネットを傷つけないようにマイナスドライバーを差込み、手前に引抜いて外してください。
- ③ブラケットをお好みの位置に差込んでください。
※左右のブラケットが水平になるように取付けてください。
- ④ハンガーバーをブラケット奥まで押込んでください。



アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお買い求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

修理の依頼先

- ・お買い求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL 公式通販サイトよりご注文いただけます。

- リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

リクシルストアに掲載のない部品につきましては、
お買い求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において、お客様がお買い求めの建築会社、工務店、施工店又は販売店（以下「取扱店」といいます）にご相談いただいた場合に、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中、製品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お買い求めの取扱店にご相談ください。お買い求めの取扱店へご相談出来ない場合には、当社商品相談窓口までご相談ください。

- 対象商品…………… インテリア建材商品
- 保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)の場合、建築主さまへの引渡し日とします。
- 「有料扱い」のご注意…………… 建主さまがお持ちの工具で簡単に修理できるケース、または専門工事を伴うケースがありますので、事前にお買い求めの取扱店様にご相談ください。メーカー修理を依頼される場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
- 免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など)
 - ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
 - ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
 - ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合)
 - ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
 - ⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
 - ⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑫本来の使用(一般住宅同等の環境下で使用される建築物)の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

- ※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。
- ※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客様相談センターにお問合わせください。
- ※次のような消耗部品については、雨水侵入に伴う10年間の保証期間中であっても有料となります。(当社の不具合を除く)ガラス押えゴム(グレチャン、ビード、ガラスパッキンなど)、気密部品(気密材、気密パッキン、気密ピースなど)、モヘヤ、風止め板、はずれ止め、振れ止め、カバー材、戸当り部品(戸当りパッキン、戸当りキャップなど)、戸車、操作つまみ、排水部品、排煙窓のワイヤー、網戸の網、網押さえゴムなどの合成樹脂部品
- ※BL認定商品については別途定められた保証期間・保証内容・免責事項によります。
- ※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

株式会社 LIXIL

※商品のお問い合わせ・ご相談時のため、メモしておくとう便利です。

■販売店名

TEL ()

■工務店名

TEL ()

2025年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

交換用部品については、リクシルストアまで

お客さまご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL公式通販サイトよりご注文ください。

■リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

リクシルストアに掲載のない部品につきましては、お買い求めの取扱い店または

当社お客さま相談センター ☎0120-126-001 にご連絡ください。

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAP-588	事業所コード FV96	2025.12.1発行
--------------	-------------	-------------

